



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通 6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

7月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】ワールドユースデー
【宣教】アジア
【日本の教会】若者の支援

喜びの内にこれからの発展を祈りつつ
直方教会移転・聖堂新築献堂

5月25日(土)、直方教会主任司祭Ⅱ寺浜亮司神父 田川教会兼任)において、新聖堂献堂式が宮原司教主司式、郡山司教(鹿児島教区長)をはじめ20数人の司祭団とともに荘厳に行われた。



旧聖堂は1946年初代主任司祭ドルエ神父(パリミツシオン宣教会)の時、直方市平和町に140坪の民家を購入し、はじめてのミサが行

教皇フランシスコとの対話

(教皇は、バチカンで6月7日、イエズス会系の学校の生徒たちと交流され、子どもたちとの質問に答える機会をよ持たれた。その一部。)

【少年】僕はババ様宛の手紙に「信じていること」を捜し求めている」と力書いたあの少年です。僕は忠実でありたいです。でもそれは結構難しいというか、時々疑問がわいてしまっています。僕らみたいな年齢では、きつと普通だと

【教皇】歩くという行為は、一つの技術です。いつも急いで歩いていたら、疲れてしまつて、結局目的地に着くことができませんね。でも、もし止まってしまうと、歩くのをやめてしまつても、それもあるでしょう。転んで、また転んで...でも、あなたたちは失敗を恐れてはいけません。転ぶのを怖がったらだめです。歩く技術で大切なのは、転ばないことではなく

て、転んだら、転んだままでいないことです。すぐに立ち上がつて、歩き続けることです。これは素晴らしいことです。これが毎日努力することです。人間性というものです。でも、一人で歩くのはつまらないですよ。つまらないし、退屈です。友だちや、自分を愛してくれている人たちとみんな一緒に歩むこと、それは自分の到達すべき目的にたどり着くのを助けてくれます。あなたの質問によく答えられたかな。どうですか?歩み続ける

【少女】フランシスコさん、ババ様になりましたか?【教皇】あなたは、自分を大切にしない人というの、どういう人だかわかるかな?自分がババ様になりたいと思うような人は、自分を大切にできない人ですよ。神様はそういう人を祝福されないでしょう?ですから、答えはいいえです。わたしはババ様になりたいと思つたことはありません。どうですか?ほら、こっちにいらつしやい。



◆門司教会管理者Ⅱ川上栄光(神言会・名古屋教区より)6月28日より※前号発表後、変更がありました。

直方教会新住所
〒822-0002
直方市頓野3891-2
TEL 0949(28) 8908
FAX 0949(28) 8650

【教会建設のための祈り】を作成し、故松永司教より認可され、毎週のミサの時に、実現に向けて祈り続けた。建設

2011年3月11日、東日本大震災が発生、日本中が悲しみに沈み、建設は一時休止し、建設3度目のストップとなった。この間、他教会見学等を度々行い、参考にしながら、昨年7月に念願の聖堂建設開始、寺浜神父を慕う青少年たちが古い椅子を磨き上げたりしながらこの日を迎えることとなった。



願を唱えた後、司教は「今、塗油されるこの祭壇とこの家を神が、ご自分の力によって聖なるものとし、キリストと教会の神秘を表すしるしとしてくださいますように」という言葉とともに祭壇に聖香油を塗り、聖堂内に香油の香りが広がった。続いて司祭や信徒により12本のろうそくが灯され、元氣いっぱい聖歌が美しい典礼をさらに豊かにした。

琵琶崎待労院閉所・感謝のミサ

ミサの後に待労院でパーティが催されたが、その中で、もと入所者の方の証しがあり、「8歳でハンセン病に罹るも待労院から社会復帰し、養豚業が成功し結婚して子供や孫に囲まれた生活をしている。その生活を支えてきたものは待労院でいただいた信仰、これが一番の宝です」と語った。待労院の名称は、「疲れた者、重荷を負う者はだれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」(マタイ11・28)からきている。かつての待労院の院長、シスター板倉の「ただひたすら患者と共に喜び、悲しみ、働き、祈りながら治療をし、愛し合つて来ました」というこの一言は、待労院の姿をもつともよく表しているといえる。

ミサの後に待労院でパーティが催されたが、その中で、もと入所者の方の証しがあり、「8歳でハンセン病に罹るも待労院から社会復帰し、養豚業が成功し結婚して子供や孫に囲まれた生活をしている。その生活を支えてきたものは待労院でいただいた信仰、これが一番の宝です」と語った。待労院の名称は、「疲れた者、重荷を負う者はだれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」(マタイ11・28)からきている。かつての待労院の院長、シスター板倉の「ただひたすら患者と共に喜び、悲しみ、働き、祈りながら治療をし、愛し合つて来ました」というこの一言は、待労院の姿をもつともよく表しているといえる。

今年も8月にFYCCが行われます。今年で11回目を数えるFYCC。これまで福岡地区の青年の有志たちが中心となつて発案し、参加者である中高生たち同士の交流、そして青年たちとの交流の場として提供されてきたプログラムです。もちろん、各自が所属する小教区に奉仕するきっかけにして欲しいとの思いを込めたプログラムと

しても位置付けられています。私も神学院に入学する以前から関わらせてもらっていますので、これまでFYCCの準備にあたってきた青年たちの姿にいつも「懸命さ」を感じてきました。私自身、同世代です。

出来事としてある(神さまから愛される一員としての歩み)に自信を持ちたい。」誰かから聞いた言葉ではありませんが、青年たちの中にはきつとそう考える人もいます。当然の言葉かも知れませんが、深い意味のある響きのある言葉です。私自身、今年のFYCCに関わることで中高生たちや青年たちとの言葉を共有できればと思っています。青年たち、中高生たちがこれからも自信を持って生きていくことができますように。

公害の原点とも言われる「水俣展」が開催されると知り、足を運んだ。わが教区内で起こった出来事だが、戦後のこの大きな公害事件について何も知らなかったことを恥じた。原因物質のメチル水銀は、耳かき半分ほどの量で人を死に至らしめ、不知火の海に垂れ流された総量は、全日本国民を2回殺してもなお余る量だという。病気を発症したにもかかわらず、差別や疎外を恐れてそれを隠し続けた漁民、原因を知りながらそれを隠べいし続けた企業と国、補償の問題、多くの事柄が、2年前に起こった原発事故と重なつた。何も変わっていない、と。戦後私たちのこの国は「より豊かに、より便利に」を目指して突き進んできた。しかし、その狭間でどれほど多くの人々がその代償として大きな重荷を背負わされていることだろうか。それは、何も水俣病に限らず、沖縄の問題然り、そして福島の問題然りである。「歴史」というのは、かつて起こったことではありません。かつて起こったことを文章で記録したものが歴史です。記録されて記述されてはじめて、それはその社会に生きる人々、後世の人たちによって役に立つものになります」(池澤夏樹)。人はすべての人に忘れられたときにもう一度死ぬ、という言葉聞いたことがある。この国で起こったこと、また起きていることに無関心でいてはならないと思う。記憶するという行為は、単に忘れないということではなく、その人々の思いや苦しみに心を寄せることであるがゆえにそれは、祈りにつながるのだと思う。

福岡教区本部 2012年度収支計算書

<収入の部>		
科 目	決 算	摘 要
(宗教活動収入)	131,862,433	
【援助金収入】	33,013,523	
神学校援助金	33,013,523	神学校後援会費（月、一口300円）
【寄付金収入】	45,563,551	
一般寄付金収入	536,000	
指定寄付金収入	2,348,984	
司祭寄付金収入	42,678,567	ザベリオ宣教会、コロンバン会、堤敏雄神父
【特別献金】	418,409	
広報活動援助献金その他献金	418,409	教区報広告代他
【分担金収入】	52,866,950	
小教区分担金収入	41,186,337	小教区維持費・ミサ献金の15％
小教区司祭給与分担金収入	9,500,000	
租税分担金収入	1,652,613	
その他分担金収入	528,000	
（資産運用収入）	2,873,192	
受取利息収入	2,464,958	預金利息、投資運用分配金など
雑収入	268,734	
電柱敷地料	124,500	
資産利用料収入	15,000	
（繰入金収入）	1,203,900	
小教区会計繰入金収入	1,203,900	
【小計】	135,939,525	
【収入合計】	135,939,525	
<指定献金の内訳>		
【指定献金】	18,067,169	
児童福祉献金	2,847,606	1月最後の日曜日
四旬節愛の献金	3,407,805	四旬節中
聖地エルサレム献金	766,428	聖金曜日
広報の日献金	1,431,262	復活節第6の日曜日
聖ペトロ使徒座献金	1,286,841	聖ペトロ聖パウロ使徒の祭日の直前の日曜日
世界難民移動献金	1,414,021	9月の第4日曜日
世界宣教の日献金	1,411,798	10月の最後から2番目の日曜日
宣教地司祭育成献金	1,710,944	12月の第一日曜日
修道会指定献金		
カテドラル献金	937,715	4月13日に近い日曜日
臨時指定献金	2,852,749	
<支出の部>		
(宗教活動支出)	132,401,800	
【教区宗教活動費】	36,796,520	
祭儀行事費	2,561,251	黙想会謝礼、葬儀、叙階式
司祭研修費	2,196,859	黙想会等
委員会活動費	1,148,219	
宣教広報費	4,005,816	教区報、写真代他
布教活動費	210,289	
教育養成費	8,477,413	信仰教育、聖書委員会等
図書資料費	496,025	
会議費	116,122	
諸会費	163,200	教誨師会他 教誨
慶弔費	155,000	
神学生養成費	11,366,326	大神学院分担金、長崎コレジオ、長崎神学院
その他分担金支出	5,900,000	中央協議会等
【管理運営費】	32,341,270	
消耗品費	1,787,080	
通信費	1,006,296	
旅費交通費	2,418,670	職員交通費、高速代、ＪＲ・航空運賃等
自動車諸費	2,164,408	
水道光熱費	3,148,026	
交際接待費	293,852	
営繕修理費	4,164,212	
賃借料	3,070,042	
報酬委託手数料	7,529,891	会計事務所、弁護士、労務士、日本語教師等
租税公課	5,324,350	消費税、法人税、市民税、固定資産税など
損害保険料	1,367,470	
雑費	66,973	
【人件費】	63,264,010	
司祭給与	25,618,900	
職員給与	31,470,000	職員、パート（合計19名）
雑給	427,625	
法定福利費	5,463,889	
福利厚生費	283,596	
（繰入金支出）	65,000	
本部会計繰入金支出	65,000	
【支出合計】	132,466,800	
【当期収支差額】	3,472,725	

「信仰年」を旅するために X

「5つのパンと2匹の魚を差し出した少年の信仰」

杉原寛信神父

「5つのパンと2匹の魚を差し出した少年」の話（ヨハネ6・1～15）。

「5つのパンと2匹の魚」に自らを託し、全てを差し出す少年。《5つのパンと2匹の魚》は量的には少ない：？しかし全てを捧げることは、とても深い《豊かさ》なのでは：。イエスは豊かに捧げられた《5つのパンと2匹の魚》を用いて、多くの人々を格別に満たされた。そして何よりもあの少年自身が、深くイエスに満たされ、その人生・命

が真に《豊か》にされたのは：。言葉に表わせない大切なことを、体感したに違いない。

《信仰》とは、行ないである。人があの大切なかけがえのない方に会った時、全てを捧げる行ないである。《5つのパンと2匹の魚》に託して、自らの全てを捧げた少年の行ないこそは《信仰》。

福岡教区にも、《5つのパンと2匹の魚》を差し出したあの少年に似た青少年たちがいる。

教区『召命祈願ポスター』で紹介されている11名の神学生たち。

＊長崎小神学校に学ぶ小神学生8名（高校生4名、中学生4名）。

＊福岡コレジオにて日本語学校に通う韓国入神学生1名。

＊韓国入神学生1名。

＊大名町教会で助祭奉仕をしながら日本語学校に通う、韓国人助祭1名。

この11名の他に、司祭召命への呼びかけを聞き、真剣に祈り考えている若者が数名いる。全てを捧げることを、真剣

に思い悩みながら深めていつてもらいたい。豊かに捧げたなら、多くの人が満たされるので：。

新田原教会主任司祭

宮原司教様が福岡教区司教として着座された時、先ず《召命促進》を最優先課題として取り上げられた。その具体的・霊的取り組みが、個人・教会・地区・教区として意識され、今日まで実行されてきている。

『カトリック教会における信仰の危機』の1つは、『召命』の不足と言えよう。捧げる《豊かさ》が足りない。出し惜しみ：。司祭・修道者、信徒、家庭、そして教区全体が、豊かに捧げる《行ない》に徹するなら、その具体的しるしは『召命』となつてあらわれるはず：。

少年から学びたい。《5つのパンと2匹の魚》全てを捧げるあの心を。

福岡地区女性の会が取り組む震災復興支援

「博多にきんしゃい」プロジェクト

今年5月16～17日に開催された日力連総会で仙台、八木山教会の竹内さんという方にお会いしました。竹内さんは東日本大震災後、仮設住宅で避難生活をされている方々とお茶会を始められ、その後住民の方々の声で「和服で洋服を作ろう」プロジェクトを立ち上げられました。そしてそれが八木山教会全体の活動になったと話してくださいました。

私達福岡地区女性の会も震災直後から現地の求めに応じて各小教区に呼びかけ「裁縫道具・タオル・和服・子供服」等を送ってきました。そこで私達は、原発事故の影響で不自由な生活を余儀なくされて

福岡では報道等で伝えられているように除染は進められていても今尚、多くの方々が自宅にもどれず、長い仮設生活を過ごされています。子供たちもまた不自由な生活で不安な日々を過ごしています。そこで私達は、原発事故の影響で不自由な生活を余儀なくされて

今年5月16～17日に開催された日力連総会で仙台、八木山教会の竹内さんという方にお会いしました。竹内さんは東日本大震災後、仮設住宅で避難生活をされている方々とお茶会を始められ、その後住民の方々の声で「和服で洋服を作ろう」プロジェクトを立ち上げられました。そしてそれが八木山教会全体の活動になったと話してくださいました。

私達福岡地区女性の会も震災直後から現地の求めに応じて各小教区に呼びかけ「裁縫道具・タオル・和服・子供服」等を送ってきました。そこで私達は、原発事故の影響で不自由な生活を余儀なくされて

福岡では報道等で伝えられているように除染は進められていても今尚、多くの方々が自宅にもどれず、長い仮設生活を過ごされています。子供たちもまた不自由な生活で不安な日々を過ごしています。そこで私達は、原発事故の影響で不自由な生活を余儀なくされて

子供達はのびのびと遊び、親御さん達はゆつくりとした時間を過ごしていただくような活動にしたいと考えています。小さな取り組みですが少しでも子ども達のそして親御さんの「福岡の夏の思い出」になり、心の平安につながればと思います。

最後にお手伝いとして、掃除・片付け等を手伝って下さる方、夕食・懇親会の準備を手伝って下さる方、子ども達と一緒に遊んで下さる方等ボランティアを募集しています。詳しくは各小教区女性の会の担当者にお尋ねください。皆様のご協力によりこのプロジェクトが成功し、来福を希望される方がおられる限り、未永く継続できますように。

福岡地区女性の会 角田茂子

黙想会のご案内

☆奉獻生活者のための黙想会
・11月22日(金)～12月1日(日)費用:8万円(指導:御受難会 中村克徳神父)
☆一泊黙想会(15:00～15:00)費用8,500円(指導:御受難会 中村克徳神父)
9月7日(土)～8日(日)、10月26日(土)～27日(日)
☆日帰り黙想会(10:00～15:30)費用3,000円(指導:御受難会 中村克徳神父)
9月20日(金)、11月8日(金)

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
E-メール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

典礼シリーズ⑬

日本カトリック神学院
院長 白浜 満神父

【質問】 主日のミサではほとんど第2奉献文だけが用いられています。ある司祭の話では、「主日や祝日には第2奉献文は使わない」と言われました。本当のことを教えてください。

【質問に答えて】 第二バチカン会議前の『ローマ・ミサ典礼書』には、ローマ典文（公会議後、若干の修正が加えら

れた第1奉献文と呼ばれるようになったもの）しかありませんでした。このローマ典文は、原型となる部分が4世紀後半から徐々に固定化され、5世紀には、ほぼ従来のローマ典文と呼ばれる形となったようです。そして、第二バチカン公会議前まで約1500年間、ローマ・ミサ典礼の唯一の奉献文として使用されてきました。

第二バチカン公会議（1962～1965年）の後に、典礼刷新が進められて公布された新しい『ローマ・

ミサ典礼書』の初版（1970年）と第2版（1975年）には、4つの奉献文が掲載されました。因みに、現在の日本の教会で使用されている国語の『ミサ典礼書』は、第2版を翻訳・適したもので、1978年に発行されたものです。この4つの奉献文の選択の基準について、ローマ・ミサ典礼書の総則（322）に説明がありますので、要約してみたいと思います。

① 基本的には、主日と祝祭日のためには第3奉献文が優先的に用いられ、週日と特殊

な事情においては、第2奉献文を用いるのが適当であるとされています。ただし、このような「適当である」という表現は、その他の場合を排除するということではありません。第2奉献文は固有の叙唱を持つていますが、入替が可能です。

② 第1奉献文はいつでも唱えることができます。とくに、第1奉献文に挿入される固有の祈りがある日、奉献文中に名前が出てくる使徒や聖人の祝祭日、また（第3奉献文が使用されない）主日に用いる

③ 第4奉献文は入替ができません。固有の叙唱を持つていないため、固有の叙唱がない場合に用いられます。典礼秘跡省の説明（Notitiae, Vol.51(1969), p.323）によると、当日に必ず用いなければならない叙唱がある祝祭日や主の降誕と主の復活の8日間を除いて、年間の主日・週日のみならず、他の典礼季節の主日・週日にも、第4奉献文を用いることができます。いうことです。

29年前、1984年4月5日、合宿練習中に遭難した息子武彦のメモリアルです。「主なる神よ、僕の愛する海の友をお守りください」とただひたすらに祈り続けています。今年も4月5日当日、現役部員並びに多くのヨットマンの広い祈りがありました。カトリックの美しい絆です。私たちともに祈ります。主よ、私たちの祈りを叶えて下さいますように、と。

箱崎教会 白水武人、良子

☆ゆるしへの道
イマキュレー・イリバギザ
ステイヴ・アーウィン 著
原田葉子 訳

小さなトイレに身を隠して100日間。ルワンダの大虐殺をひとりの若い女性が奇跡的に生き延びた。家族や友人を失い、絶望の淵で見つけた生きる意味とは？

女子パウロ会 発行
税込価格 1470円

筑後地区として初めての信徒研修会「ミサ」を学ぼう

5月26日の午後、筑後地区信徒使徒職評議会（会長 平田信将氏）主催で、久留米教会にて筑後地区信徒研修会を開催した。テーマは、「信仰年に因んで『ミサ』を学ぼう」。最初に、ソットコルノラ・フランコ神父（真命山・ザベリ才宣教会・中央協議会典礼委員）による講演があった。フランコ神父は、「信仰年は先代の教皇が意図して残してくれた宝。この年は第二バチカン公会議から50年目に当たるが、刷新された典礼は私たちの信仰を生き生きとさせ、育んでくれた。信仰の中心であり、頂点である『ミサ』も、み言葉の祭儀からして信者にとって身近なものとなり、感謝の祭儀では、聖霊の導きにより、父なる神にキリストと共に自らを捧げること、聖霊によって聖別された聖体を頂くことにより、キリストに同化され、信仰者は一つになるなどがよく理解されるように

三位一体の愛の交わりに参与できる。聖体や他の秘跡によって深く神と関わりあわせてもらえる。この豊かな恵みを多くの人と分かち合ってもらいたい」と熱意をもって話した。最後に担当司祭下町豊重神父から参加協力者への御礼の言葉があり、熱気に満ちた研修会を終えた。160人程の参加者は一様に、「初めての集いに参加できてよかった。得るものが沢山あった」と話していた。

今年の2月20日から24日にかけて韓国済州島で開催されたカトリック日韓青年交流会の報告会が、5月26日（日）大名町教会にて開催された。交流会に参加した一人の青年が、自分のすばらしい体験を青年たちに分かち合いたいと

島崎教会で恒例の聖体行列
熊本の市道を行列しながら神を賛美

6月9日（日）聖体の祝日に熊本、島崎教会にて、恒例の聖体行列が、午前10時より、主日のミサに引続き行なわれた。

熊本地方に梅雨入り宣言が出たばかりで、天候が心配されたが、今年も聖体行列に相応しい天気に恵まれ、市内各地から修道女、信徒約180名が、これに参加した。

行列は、教会の北側に位置するマリアの宣教師フランシスコ修道院の聖堂までの約1キロの行程で行われる。この間、教会を出て、神を賛美する聖歌を唱和し、熊本市道を約300メートル程行進し、修道院の裏門に着く。この敷

海の日にあたり

7月の第3月曜日は「海の日」です。この日を迎えるのが適当であるとされています。

③ 第4奉献文は入替ができません。固有の叙唱を持つていないため、固有の叙唱がない場合に用いられます。典礼秘跡省の説明（Notitiae, Vol.51(1969), p.323）によると、当日に必ず用いなければならない叙唱がある祝祭日や主の降誕と主の復活の8日間を除いて、年間の主日・週日のみならず、他の典礼季節の主日・週日にも、第4奉献文を用いることができます。いうことです。

色調ゆたかに季節の花びらで彩られた。その後、行列は修道院の聖堂に着き、最後に聖体賛美式が、賛美と感謝の裡に捧げられた。

ところで、この行列に参加した男性の信徒は、次の様に感想を述べた。

「待労院が、ハンセン病療養所としての使命を達成し、その職務を終えられた事は、神のみ恵みが成就したことです。『疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう』（マタイ11・28）。このみ言葉が待労院の設立の精神だったのですから、この神のやさしさが、実現した時、今ここに居合わせて、目の当たりにした私たちは幸せです。今日、行列に参加し、神に深く感謝しました。」

島崎教会 高木光行

☆国際情勢の危うさと福音の光
西山俊彦 著

魚釣島／尖閣列島・独島／竹島問題に鋭いメスを入れ、「国家理想」の覇権支配に警鐘を鳴らす！科学と宗教の責務自覚に投じる一石。

サンパウロ 発行
税込価格 525円

☆いつしよにせいしよ
マエル・C 作
つばきうたこ 訳

かわいイラストとシンブルなことばをとおして、聖書のお話を小さい子どもに語り聞かせられる絵本。ことばを覚えはじめるころの子どもといっしょに！

ドン・ボスコ社 発行
税込価格 840円

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅（新築・改築工事）
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール
FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日／AM 10時～PM 5時40分
日・祝日／AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える Ⅲ

福岡地区聖書講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い
『ルカ福音書における愛といやし』
日 時：7月21日(日) 14:00～16:00
講 師：P. ジュード神父(古賀教会主任司祭)
場 所：カトリック大名町教会1階講堂
主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：共に学び、生活の場で伝えよう
～『ルカ福音書が呼びかける信仰』～
日 時：9月29日(日) 14:00～16:30
講 師：山元眞神父(小倉教会主任司祭)
場 所：カトリック小倉教会
主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

福岡地区平和を祈る集い

日 時：8月10日(土) 13:00～15:45
場 所：大名町教会1階講堂
第1部：講演会
「福島の実実その叫び～回心への聖地その希望～」
講師：金澤弘子(白河みみずく)
第2部：福岡女性の会報告会
主 催：福岡地区信徒使徒職協議会

佐賀地区平和を考え祈る集い

テーマ：「平和を考え祈る」—高校生平和大使を囲んで—
日 時：8月11日(日) 10:00 講演、11時20分ミサ
場 所：カトリック佐賀教会
講 師：高校生平和大使 吉田澤
主 催：佐賀地区信徒使徒職協議会
問合せ：☎ 0952-73-1573 森内

震災のための祈りのリレー

日 時：7月11日(木)
7:00 ミサ～19:00 夕の祈り
場 所：カトリック西新教会
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一

修道会合同召命黙想会

テーマ：耳を傾けて
日 時：7月13日(土)～15日(月)
場 所：長崎 立山黙想の家
対 象：高校生～40代までの男女
申込・連絡先：☎ 095 (821)4577 FAX 095(821)4585
E-mail：ret-nagasaki@dream.ocn.ne.jp
主 催：イエズス会、マリア会、パウロ会、お告げのマリア会、
カノッサ会、コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会

F Y C C 1 1
(Fukuoka Youth Catholic Camp)

テーマ：みち
日 時：8月9日(金) 午後～11日(日) お昼まで
場 所：日本カトリック神学院福岡キャンパス
対 象：福岡県内の中学生・高校生
参加費：4,500円(兄弟割引3,000円)
申込先：catholic_fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp
申込締切：7月14日(日)
主 催：福岡地区青年会

教区召命学校

日 時：8月6日(火)～8日(木)
場 所：日本カトリック神学院福岡キャンパス
問合せ先：☎ 0942(32)8011 浦川神父

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

6日(土)～7日(日) 山口・島根地区信者養成研修会 (空室0)
13日(土)～14日(日) 後援会黙想会 (空室20)
14日(日)～15日(月) 産業医大セミナー (空室5)
20日(土) 福岡チェナケルム
27日(土)～28日(日) 雙葉学園研修 (空室0)
28日(日)～8月4日(日) ショファイユの幼きイエズス会
黙想会 (空室0)
※日帰り黙想会(10時～15時30分)・一泊黙想会(15時～翌日15時)
参加者募集中です！
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：イエス様に祈りを学ぶ
・日 時：7月11日(木) 10時～15時
・内 容：主よ、わたしたちに祈りを教えてください！
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回：9月12日(木) (8月はお休み)
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月6日(土)、20日、8月3日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い

〔日時〕毎週月曜11時〔場所〕大名町教会1階〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい〔問合せ先〕☎092・521・2503 蓮尾

■福岡ホスピスの会ジャズの夕べ

〔日時〕7月6日(土) 17時30分〔場所〕大名町教会1階ホール〔内容〕ジャズの夕べミニライブ開催〔参加費〕1500円(コーヒーお菓子付き)〔問合せ先〕☎092・791・7532

■召命祈願ミサ

〔日時〕7月10日(水) 19時〔場所〕大名町教会〔主催〕福岡地区召命を共に祈る会〔問合せ先〕☎0942・32・8011 浦川神父

■子どもの問題を考える会⑥

〔日時〕7月14日(日) 14時〔場所〕大名町教会〔テーマ〕子どもたちと出会うためのはじめの一步〔講師〕雨宮泰紀神父(サレジオ会)〔会費〕1000円〔主催〕子どもの問題を考える会〔申込み先〕☎090・3665・9070 江口

■福岡ホスピスの会勉強会

〔日時〕7月14日(日) 14時

親の会

〔日時〕7月20日(土) 13時30分〔場所〕大名町教会3階会議室〔参加費〕600円〔問合せ先〕☎090・1162・6395 柴田

■ザビエル合唱団練習

〔日時〕7月20日(土) 13時30分〔場所〕西新教会〔問合せ先〕☎0940・33・5423 橋本

■在世フランシスコ会集会

〔日時〕7月21日(日) 14時から16時〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔指導〕エドウィン神父(高宮教会主任)〔問合せ先〕☎092・843・5831 岩崎

■グレゴリオ聖歌を歌う会

〔日時〕7月23日(火) 11時〔場所〕聖クララ寮〔内容〕天使ミサ・ベネディクション〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

■聖ヨアキム・聖アンナミサ

〔日時〕7月26日(土) 13時30分〔場所〕高宮教会〔主催〕聖ヨアキム・聖アンナ会〔問合せ先〕☎090・9568・0076 野川

■福岡地区納骨堂

〔一般清掃日〕7月28日(日) 9時(清掃後ミサ11時)〔納骨堂開放日〕8月13日～15日 10時～15時(追悼納骨式ミサ) 8月15日(木) 14時

■美野島司牧センター

●ホームレスの方に手作りお昼ごはん。毎週火曜日10時30分●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時〔問合せ先〕☎092・431・1419 M・コース神父

北九州

■北九州召命を共に祈る会

〔日時〕7月11日(木) 14時〔場所〕カトリック小倉教会〔内容〕祈りとミレーティング〔司式〕杉原寛信神父(新田原教会)〔連絡先〕☎0949・24・9905 藤井

■小倉祈りの集い

〔日時〕7月26日(金) 13時半〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父(御受難会)〔内容〕『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り〔連絡〕☎090・3985・5209 松田

■主日の福音を味わう集い

〔日時〕7月28日(日) 14時〔場所〕コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会千防修道院〔問合せ先〕☎093・884・0506 シスター高橋

◆佐賀

■佐賀祈りの集い

〔日時〕7月6日(土) 10時。毎月第1土曜日〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔問合せ先〕☎095・2・30・8347 吉武

◆熊本

■熊本地区召命を共に祈る会

〔日時〕7月18日(木) 11時〔場所〕健軍教会〔問合せ先〕健軍教会☎096・368・2825 青木悟神父

編集後記

フランススコ教皇様のお言葉、素晴らしいですね。「パバ様になりたいと思うような人は自分を大切にできない人ですよ」とは至言です。世の人の 見つけぬ花や 軒の栗 芭蕉

COSMOS

スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きませんか?
=募集=
医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室
いくま整骨院

受付時間 平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公告

命をかけて
いのちを生きる

7月1日 福者ペトロ岐部と187殉教者
7月の休業日 7、14、15、21、28



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)／日・祝日休業／地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930